

事業再構築補助金

第6回公募からの変更点の概要

事業再構築補助金の概要（従来制度）

補助金額・補助率

※通常枠

従業員数	補助金額	補助率
20人以下	100万円～4,000万円	2/3
21人～50人	100万円～6,000万円	
51人以上	100万円～8,000万円	2/3 (6,000万円超は 1/2)

※中堅企業等 1/2 (4,000 万円超は 1/3)

① 事業再構築要件

★事業再構築指針に示す「事業再構築」の定義に該当する事業であること

② 売上高減少要件

★**2020年4月以降**の連続する6か月間のうち、任意の3か月の合計売上高が、コロナ以前（2019年又は2020年1月～3月）の同3か月の合計売上高と比較して10%以上減少していること

※2020年9月以前を対象月とした場合2020年10月以降売上高が5%以上減少していることを条件とする

※付加価値額で代用可能に
⇒売上高10%減少もしくは**付加価値額15%減少**

③ 認定支援機関要件

★事業計画を認定経営革新等支援機関と策定すること

④ 付加価値額要件

★補助事業終了後 3～5 年で付加価値額の年率平均 3.0%以上増加、又は従業員一人当たり付加価値額の年率平均3.0%以上増加する見込みの事業計画を策定すること

※付加価値額の定義は、営業利益、人件費、減価償却費を足したもの

事業再構築補助金の変更点(第6回公募より)

①売上高10%減少要件の緩和

要件期間に変更あり、複数要件から10%以上減少していることの1つの要件へ

②回復・再生応援枠の新設

緊急事態宣言特別枠の廃止に伴い
業績が厳しい事業者向けの
新しい申請枠が開始

④通常枠の補助上限額の見直し

現在の従業員規模に応じた補助上限額が
変更され2,000万円の枠が開始

③グリーン成長枠の新設

グリーン分野での事業再構築を通じて
高い成長を目指す事業者を対象に
新しい申請枠が開始

- * 14分野で掲げた課題の解決
- * 売上10%要件なし
- * 付加価値年率は3%⇒5%へ
- * 1度採択でも2回目OK!

⑤補助対象経費の見直し

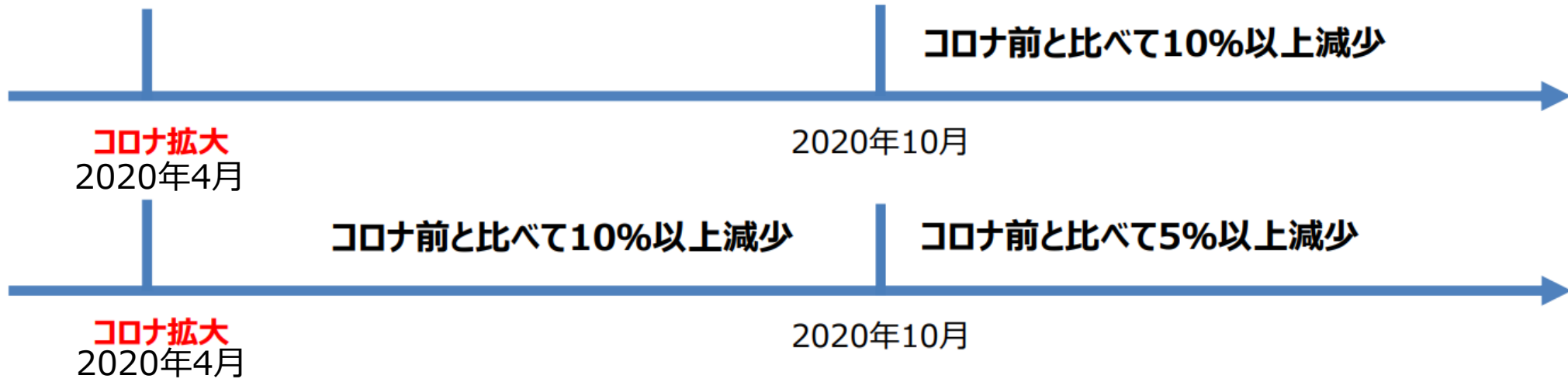
- ・「建物費」が原則、改修の場合に制限される
新築の場合は、一定の制限が設けられる
- ・「研修費」が補助対象経費総額の1/3に
制限される

事業再構築補助金の変更点(第6回公募より)

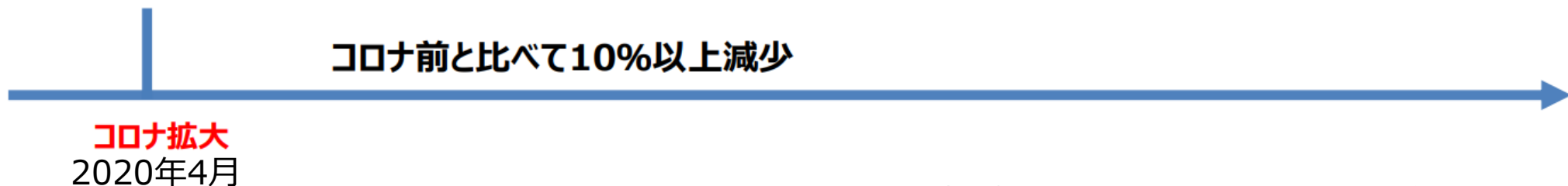
売上高10%減少要件の緩和

第5回公募まで…コロナ前後を比較して10%以上減少していれば、2020年10月以降はコロナ前と比べて5%以上の減少でも申請可

～以下のどちらでも申請可能～



第6回公募から…コロナ前後を比較して10%以上減少していれば申請可



事業再構築補助金の変更点(第6回公募より)

成長枠成長が期待される14分野

2050年に向けて成長が期待される、14の重点分野を選定。

・ 高い目標を掲げ、技術のフェーズに応じて、実行計画を着実に実施し、国際競争力を強化。 ・ 2050年の経済効果は約290兆円、雇用効果は約1,800万人と試算。

 洋上風力・太陽光・地熱 <ul style="list-style-type: none">2040年、3,000~4,500万kWの案件形成【洋上風力】2030年、次世代型で14円/kWhを視野【太陽光】 1	 水素・燃料アンモニア <ul style="list-style-type: none">2050年、2,000万トン程度の導入【水素】東南アジアの5,000億円市場【燃料アンモニア】 2	 次世代熱エネルギー <ul style="list-style-type: none">2050年、既存インフラに合成メタンを90%注入 3	 原子力 <ul style="list-style-type: none">2030年、高温ガス炉のカーボンフリー水素製造技術確立 4	 自動車・蓄電池 <ul style="list-style-type: none">2035年、乗用車の新車販売で電動車100% 5	 半導体・情報通信 <ul style="list-style-type: none">2040年、半導体・情報通信産業のカーボンニュートラル化 6	 船舶 <ul style="list-style-type: none">2028年よりも前倒しでゼロエミッション船の商業運航実現 7
 物流・人流・土木インフラ <ul style="list-style-type: none">2050年、カーボンニュートラルポートによる港湾や、建設施工等における脱炭素化を実現 8	 食料・農林水産業 <ul style="list-style-type: none">2050年、農林水産業における化石燃料起源のCO₂ゼロエミッション化を実現 9	 航空機 <ul style="list-style-type: none">2030年以降、電池などのコア技術を、段階的に技術搭載 10	 カーボンリサイクル・マテリアル <ul style="list-style-type: none">2050年、人工光合成プラを既製品並み【CR】ゼロカーボンスチールを実現【マテリアル】 11	 住宅・建築物・次世代電力マネジメント <ul style="list-style-type: none">2030年、新築住宅・建築物の平均でZEH・ZEB【住宅・建築物】 12	 資源循環関連 <ul style="list-style-type: none">2030年、バイオマスプラスチックを約200万トン導入 13	 ライフスタイル関連 <ul style="list-style-type: none">2050年、カーボンニュートラル、かつレジリエントで快適なくらし 14